

クリントートFXの広幅規格 実用性確認試験

JA新はこだて

加藤 寛喜



①H29.11.27 コーティング5+1UV(慣行品)



②H29.11.27 クリントートFX(試験品)

試験目的

クリントートFXの広幅規格実用性確認試験

試験作物 及び品種

軟白長ネギ

試験資材 及び数量(規格)

クリントートFX(0.15mm×900cm×56m) 1枚

慣行資材

コーティング5+1
コーティング5+1 UV

栽培方法

播種日
5月20日

収穫日
3月上旬

【栽植密度】
畝幅：30cm
株間：4cm

資材使用期間

9月上旬

試験区面積

5,000㎡

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
慣行品と大きな差はなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
慣行品と大きな差はなかった。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について
【優位点】：見舞金制度があること。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について
慣行品と大きな差はなかった。
- (5)促成・抑制効果について
慣行品と大きな差はなかった。
- (6)保温効果について
慣行品と大きな差はなかった。
- (7)雑草・病害虫の発生について
スリップス防止のために、慣行UVカット品を使用しているが、試験品の方が害虫発生が多いと感じた。

モニター感想

現在、UVカット品を使用しているため、同じく広幅品があるとよい。

また、クリントートについては慣行品と大きな差を感じなかったため、見舞金制度がある分普及性があると思う。

せっかくいい制度なので、対象期間の延長を期待したい。

JA担当者の感想(本店 生産資材課 千葉課長)

クリントートの見舞金制度については、多くの生産者から問い合わせがある。

一方、対象期間の延長を望む声があり、今後のさらなる普及拡大のために制度の内容拡充を図ってほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

クリントート広幅品のUVカット

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート広幅品

5 クリントート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 酪農資材

10 その他